

事業コード	R元一建一継一11			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防			班 名	砂防班 (tel)018-860-2517
路線名等	焼間沢			担当課長名	河川砂防課長 佐々木 寿一
箇所名	湯沢市高松字上地			担当者名	流域防災監(兼) 班長 京谷 仁美
プランとの 関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施策名	災害に備えた強靱な県土づくり	
	指標コード	03	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H 1 1 ～ R 3 （ 2 3 年）		総事業費	5.8億円		国庫補助率	50.00	
事業規模	砂防えん堤工N＝2基、管理用道路工L＝1， 1 1 8 m							
事業の立案 に至る背景	当溪流は湯沢市高松に位置し、流域面積0.33km2、保全対象として人家20戸、県道等を抱える土石流危険渓流である。近年の豪雨により、流域内では斜面崩壊が多数発生しており、溪床には上流より流出した不安定土砂や流木が堆積し、今後の豪雨等により土石流が発生する恐れがある。また、主要地方道湯沢栗駒公園線は重要な観光道路であり不特定多数の利用者があるため、直接の保全対象以外にも被害や影響が及ぶ恐れがある。 本事業は、土砂災害から地域住民の生命・財産を保全し、安全・安心な地域を創出するため、砂防設備の整備により土石流災害の防止を図るものである。							
事業目的	【主たる目的】 砂防設備の整備により、流出土砂による被害を未然に防止し、土砂災害から地域住民の生命・財産を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 人家20戸、公民館、耕地2.32ha、主要地方道湯沢栗駒公園線310m							
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	経 費 内 訳	事業費	672,000	584,800	-87,200			
		工事費	512,500	445,291	-67,209	現行基準に基づく砂防堰堤の計画の変更による減		
			用補費	24,000	15,530	-8,470	用地実測による用地費等の減	
			その他	135,500	123,979	-11,521	既存設計資料の活用による設計費の減	
	財 源 内 訳	国庫補助	336,000	292,400	-43,600			
		県 債	302,400	263,100	-39,300			
		その他						
		一般財源	33,600	29,300	-4,300			
	事業内容		えん堤工2基 工事用道路工 調査設計 用地補償	えん堤工2基 工事用道路工 調査設計 用地補償				
事業の進捗 状況	全体計画 C=5.8億円 平成30年度末投資額 C=4.8億円 進捗率 82.8% 砂防えん堤N=1基、管理用道路L=1,118mが完成しており、残りは砂防えん堤N=1基である。							
事業推進上 の課題	用地交渉が難航し、H20年度からR1年度まで事業の進捗が図れなかったが、ようやく地権者から事業協力が得られ、用地取得契約が完了したことから、課題は無くなった。							
関連する計	「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本的な政策として「県土の保全と防災力強化」が位置づけられている。							
情勢の変化 及び長期継続 の理由	H20年度からR1年度までの11年間、1号えん堤工の用地買収の難航（地権者1名）により事業の進捗が図れなかったが、ようやく地権者から事業協力が得られ、今年度に関係用地の取得契約が完了したことから、R2年度より工事を再開する。							
事業効果把握 の手法及び効果	指 標 名		土石流危険溪流に対する概成率（％）					
	指 標 式		対策済み溪流数／土石流危険溪流（％）					
	指標の種類		○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a		16.9％			データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実績値 b		16.8％					
	達成率 b／a		99.4％			把握の時期	平成31年4月	

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	下流域には人家20戸のほか、観光道路として利用され第二次緊急輸送道路となっている主要地方道湯沢栗駒公園線（冬期は迂回路無し）が保全対象として存在している。溪床には不安定土砂や流木が堆積していることから、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性が高まっており、保全対象や観光客、避難住民等への甚大な被害や影響が懸念される。	20点
緊 急 性	平成17年にも豪雨による山腹崩壊が発生するなど、事業着手後においても不安定土砂が大量に発生している。今後の豪雨等により、甚大な土砂災害をもたらす恐れがあるため、早急な整備が必要である。	30点
有 効 性	砂防設備の整備により、多数の人家や公共施設を保全することができるため有効性が高い。	10点
効 率 性	本事業の費用対効果は3.66であり、効率性は高い。 また、発生土を利用したソイルセメントや再生骨材を使用するなど、コスト削減に対して積極的に取り組んでいる。	20点
熟 度	地元住民の総意として事業の必要性に理解を得られ、また、強い要望が出されていることから、今後も県として積極的に事業進捗に取り組む。	20点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	100点
	土砂災害から人命・財産を保全するには砂防事業が最適であると判断できるため、早期の事業実施が必要である。	
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (R元一建一継一11)
箇所名 (湯沢市高松字上地)

1. 評価内訳

観 点	評価項目	細 別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
必要性	災害発生時の影響（被害想定）					
	人家戸数	2 0 戸以上	10	10	20戸	
		5 戸～1 9 戸	7			
		1 戸～4 戸	3			
		0 戸	0			
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 要配慮者利用施設 重要交通（緊急輸送道路、避難路、鉄道） 防災拠点（警察、消防、役場等） ライフライン施設（電力、ガス、水道等） 利用者多数（学校、駅舎等）	10	10	緊急輸送道路 (主)湯沢栗駒公園線	
		公共・公益施設がある	5			
		な し	0			
		計	20			20
	緊急性	災害実績				
過去の災害発生履歴		過去に災害の発生した記録がある	5	5	H17溪流山腹崩壊	
		過去に災害の発生した痕跡や情報がある	3			
		な し	0			
災害発生の危険度						
想定される流出土砂量		1 0 0 0 m 3 以上	7	7	5, 926m3	
		1 0 0 0 m 3 未満	3			
想定される流出流量		2 0 m 3 以上	6	6	176m3	
		2 0 m 3 未満	3			
荒廃面積		流域面積の 1 0 % 以上	6	6	10. 80%	
		流域面積の 1 0 % 未満	3			
河床堆積、溪岸侵食状況		破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	第三紀層地帯	
		その他	3			
計			30	30		
有効性	上位計画への貢献					
	第 3 期ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5		
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3			
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0			
	ソフト対策との関連性					
	公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒の指定 (H28. 7. 26)	
		土砂災害危険箇所マップ等	3			
		な し	0			
	計			10	10	
効率性	費用対効果					
	B／C	1. 0 以上	10	10	3. 66	
		1. 0 未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	発生土利用(リサイクル) 再生骨材使用	
		な し	0			
	当初計画との比較					
	当初計画事業費からの増減	減少または 1 0 % 未満の増加	5	5	13. 4%減 (5. 8億円/6. 7億円)	
		1 0 % 以上～ 3 0 % 未満の増加	3			
		3 0 % 以上の増加	0			
計			20	20		
熟 度	事業着手の熟度					
	地元のニーズ	要望あり	5	5	湯沢市及び地元より要望あり	
		な し	0			
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	湯沢市及び自治会への説明済み	
		合意形成がなされる見込みである	3			
		合意形成がなされていない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率（事業費）	8 割以上完了	10	10	(H30末)4. 8億円 /(計画)5. 8億円 ＝82. 8%	
		5 割以上完了	8			
1 割以上完了		5				
1 割未満		2				
計			20	20		
合 計				100	100	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		